

教育家庭新聞

2021年（令和3年）
6月7日
月曜日
第2191号

水無月・風待月・季夏
はやぶさの日（6/13）
父の日（6/20）
オリンピックデー（6/23）

第1月曜日発行

教育マルチメディア号

発行所 〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-1-8
TEL: 03 (3864) 8241代
FAX: 03 (3864) 8245
郵便振替口座 1309-53693
教育家庭新聞社
購読申込み ☎03 (3864) 8241 Eメール kks@knews.co.jp
ホームページ <https://www.knews.co.jp/>
創刊 昭和36年7月 ©教育家庭新聞社 1部 480円

紙面案内

GIGAスクール構想 整備から活用へ

GIGAスクール構想によりほぼすべての小中学校に1人1台端末環境が整備された。今後はこの環境を活かし、クラウドを利用しながら、個別最適な学び、誰一人取り残さない学び、想定外の危機も乗り越えることができる資質能力の育成が求められている。5月28日に公開された「教育情報セキュリティポリシー」に関するガイドライン「ハンドブック」では、「学校内で、先生と一緒に、インターネットやクラウドにつながる端末を毎日利用する、絶好の機会。まず禁止、制限ではなく、児童生徒のうちのから、適切なセキュリティの確保された環境下で活用の実践を積み重ねることが、これからの時代に生きていくためには不可欠」と記している。

■堀田龍也教授（東北大学大学院）は、「これまで通りの学びはもう終わる。GIGA端末を活用して個別最適な学びを実現する。そのスピード感、学校や教育委員会の教育観次第。挑戦する組織であってほしい」と話す……………2面

■端末活用のために今後、一層重要になるのがセキュリティを確保しながら運用・管理していく仕組みづくりである。改訂した教育情報セキュリティポリシーガイドラインでは、校務用端末の多要素認証や、端末の運用・管理の仕組みの導入を必須としている……………3面

■全小中学校約4割の学校で学習者用デジタル教科書の活用が始まった。1人1台端末でどのように活用すれば良いのか……………5面

Twitter @kyoikukatei
紙面問合せ kks@knews.co.jp
購読申込みはこちら

GIGAスクール端末の活用をご検討中の先生方へ

ジャパンレッジ School

中高生のためのオンライン総合学習支援ツール

- 00 主体的・対話的で深い学び
- 00 教材作成や管理にも活用できるコンテンツが豊富
- 00 教材作成から活用まで、目的や場面を問わず活用可能
- 00 いつどこでも活用可能

<https://school.japanknowledge.com/>

教育のICT活用の課題を解決!

エレコムなら教育ソリューションもワンストップ!!

- ネットワークを中心としたハードウェア・工事
- 学校現場のICT活用を快適にするアイテム
- 家庭学習でのICT活用を快適にするアイテム

Windows / Chrome OS / iPad OS
豊富な商品をご提案!
学習端末別対応検証はコチラ▶

学習者用デジタル教科書 小中1万200校で活用開始

1万2200校で学習者用デジタル教科書のクラウド活用が始まった。「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」では、1人1台端末活用も含め、多くの学校で「これまでの取組実績がない」とがスタートしている。実証事業では、課題も困難もすべて「克服」し、第1回実証事業の報告が5月27日、オンラインで開催され、冒頭、本事業の参加状況について報告。5月時点の集計によると、全国1788自治体のうち、1377自治体が本事業に参加。小学校約7000校、中学校約4300校、計約1万2200校が本事業により、学習者用デジタル教科書を1学年につき教科書もしくは自治体予算等によりそれ以上の教科書で活用している。

デジタル教科書に対する「誤解」 払拭するメッセージ発信が重要

導入が多い教科は (25%)、理科 (20%)、国語 (12%)、地理 (7%)、公民 (7%)、道徳 (5%)。書写、歴史、地歴、音楽、美術、保健体育、技術、家庭はそれぞれ0%、5%、3%、5%。なお各科目に複数教科書活用している学校は全体の約10%。国語 (10%) と続く。書き、生活、音楽、道徳はそれぞれ2~4%。中学校では英語が30%と最も多く、次いで数学20%と注目を集めている。1教科につき1教科で進めている学校は少ない。

デジタル教科書に対する「誤解」 払拭するメッセージ発信が重要

「第1次報告書」では、直近の現状における「誤解」を整理し、留意を整理した。「紙版デジタル教科書」の誤解とされる点として、多くの委員会、自治体や学校、家の状況によって教育環境の格差が生じていること、検定制の本格的な見直しについては、4年度までの学習者用デジタル教科書の導入を、2024年度までの導入を見通すことが期待されている。特に、デジタル教科書の導入による「デジタル教科書」の活用と、従来の教科書との併用が期待されている。また、デジタル教科書の導入による「デジタル教科書」の活用と、従来の教科書との併用が期待されている。

「命を守り安全に過ごす」 テーマでPBLや探究を 学校安全本部会

5月27日、第1回中央教育審議会初等中等教育分科会安全本部会（渡邊正樹部会長・東京学芸大学教職大学院教授）がオンラインで開催された。第3次開会式に出席した。第3次開会式に出席した。第3次開会式に出席した。第3次開会式に出席した。第3次開会式に出席した。

デジタル教科書の活用と、従来の教科書との併用が期待されている

「第1次報告書」では、直近の現状における「誤解」を整理し、留意を整理した。「紙版デジタル教科書」の誤解とされる点として、多くの委員会、自治体や学校、家の状況によって教育環境の格差が生じていること、検定制の本格的な見直しについては、4年度までの学習者用デジタル教科書の導入を、2024年度までの導入を見通すことが期待されている。

デジタル教科書の活用と、従来の教科書との併用が期待されている

「第1次報告書」では、直近の現状における「誤解」を整理し、留意を整理した。「紙版デジタル教科書」の誤解とされる点として、多くの委員会、自治体や学校、家の状況によって教育環境の格差が生じていること、検定制の本格的な見直しについては、4年度までの学習者用デジタル教科書の導入を、2024年度までの導入を見通すことが期待されている。

元気な小規模校を増やす! (最終回)オンラインで高め合うESD教育

中村学園大学 山本朋弘 教授
教育学部 山本朋弘 教授
屋久島町教育委員会 伝承センターを通じて、各校のESD教育の充実を図ることがねらいであった。ESD (Education for Sustainable Development) は、持続可能な開発のための教育であり、現代社会の課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組む学習活動である。屋久島町では、これまでも教育関係者や外部専門家を通じて、ESD教育の取り組みを支援してきた。屋久島町の子供たちが他校や専門家とオンラインで交流しながら、屋久島型ESD教育

ESD教育に9年間取り組んでいる

ESD教育に9年間取り組んでいる。ESD教育に9年間取り組んでいる。ESD教育に9年間取り組んでいる。ESD教育に9年間取り組んでいる。ESD教育に9年間取り組んでいる。

ESD教育に9年間取り組んでいる

ESD教育に9年間取り組んでいる。ESD教育に9年間取り組んでいる。ESD教育に9年間取り組んでいる。ESD教育に9年間取り組んでいる。ESD教育に9年間取り組んでいる。

高等學校施設整備指針を改訂

例えは「リアリティ」でオープンな職員室やフリースペースにもなる「ホール」を、幅広い階層スペース、大型スクリーンが設置された地域と協働できるエントランス。そんな高等校が、今後、増えていく可能性がある。文部科学省は、5月16日、高等校施設整備指針を改訂した。高等校施設整備指針は、「高等校施設整備指針」を改訂し、公表した。本指針は、3月末に取りまとめた報告書「これからの高等校施設整備指針」に記されている。高等校施設整備指針は、「高等校施設整備指針」を改訂し、公表した。本指針は、3月末に取りまとめた報告書「これからの高等校施設整備指針」に記されている。

高等校施設整備指針を改訂

例えは「リアリティ」でオープンな職員室やフリースペースにもなる「ホール」を、幅広い階層スペース、大型スクリーンが設置された地域と協働できるエントランス。そんな高等校が、今後、増えていく可能性がある。文部科学省は、5月16日、高等校施設整備指針を改訂した。高等校施設整備指針は、「高等校施設整備指針」を改訂し、公表した。本指針は、3月末に取りまとめた報告書「これからの高等校施設整備指針」に記されている。

高等校施設整備指針を改訂

例えは「リアリティ」でオープンな職員室やフリースペースにもなる「ホール」を、幅広い階層スペース、大型スクリーンが設置された地域と協働できるエントランス。そんな高等校が、今後、増えていく可能性がある。文部科学省は、5月16日、高等校施設整備指針を改訂した。高等校施設整備指針は、「高等校施設整備指針」を改訂し、公表した。本指針は、3月末に取りまとめた報告書「これからの高等校施設整備指針」に記されている。

ICT授業を支える「快適無線」

ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。

ICT授業を支える「快適無線」

ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。

ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。ICT授業を支える「快適無線」。